

経済省は新経済政策として小規模事業へのフォーカスを決定

零細・小企業支援サービス機関（SEBRAE）は、零細小企業定期公開討論会（フォーラム）の参加を受け、提言や対応等の討論を行った。



Presidente do Sebrae, Carlos Melles (Foto: Charles Damasceno)

生産・雇用・競争力担当のカルロス・ダ・コスタ特別局長は、2日水曜日午前に第2回零細・小企業フォーラムで表明した。

“零細・小企業について熟考しない政策は持ち合わせていない。それは今日の我々の基本方針”と説明。フォーラムは政策プロモーションの判定やブラジル国内全土の小規模事業の指標になる。2020年に予定されているフォーラムの提案の提示となる。カルロス・ダ・コスタ特別局長によると、ブラジルは零細・小企業についての先行指標が必要で関係団体の活動が基本。また“競争力や生産性向上が必要。このフォーラムは活動の中心的な役割”とカルロス・ダ・コスタ特別局長は強調している。

定期零細・小企業フォーラムはブラジルのシナリオをアップデートするチャンスである。“全ての成長に繋がるブラジルが必要としているものを作る必要がある。”とSebraeのカルロス・メーレス会長は強調した。またメーレス会長

は1日火曜日にブラナルト大統領府で発表された東北地域農業プログラム (Programa AgroNordeste) の詳細について説明。Sebraeは小規模農業の競争力やポテンシャル向上に焦点を当てた進取的パートナーであり、最低でも2万5000人の起業家が恩恵を受けている。また“経済危機脱出は零細・小企業。ブラジルの問題解決できる”と強調。このセレモニー開催には以下の人々が出席。Juliana Natrielli, 零細・小企業・事業・工芸開発担当次長、Gustavo Ene 工業・サービス・イノベーション開発担当局長、Jorginho Mello, 零細・小企業支援メンバー議会議長、Evandro Nascimento 評議会議長。

フォーラムの新メンバーのJuliana Natrielli及びGustavo Eneは新政策に関する議論の機会を強調。“零細・小企業の現実とは異なる。公共政策を策定するポイントに耳を傾ける必要がある”とNatrielli氏はコメント。続いてGustavo Ene氏は、“生産性向上効果に結びつく現実的な国家政策から始めなければならない。クレジットは投資である必要があり、コストではない”と追加した。

第3回ナショナルクレジットウィーク (3ª Semana Nacional do Crédito)

フォーラムの開催中、今月中に第3回ナショナルクレジットウィーク開催が発表された。ナショナルクレジットウィークプログラムは、ファイナンスに関するオリエンテーションを希望する起業家を補助するイベントが含まれている。Sebraeの活動には社会経済開発銀行 (BNDES) とセミナーを通じた小規模事業向けファイナンスが含まれている。

Sebraeの活動には、零細・小企業へのビジネスファンドといったギャランティオプションの紹介の他、BNDESや他の金融機関との連携を通じたセミナー、テーマ別講義、クレジットラウンド、ビジネスセッション、アテンドセッション、ワークショップやクレジット前後のオリエンテーション、零細クレジットへのアクセスといった零細企業の財務管理に焦点が当てられる。また10月には、主要なデジタルメディアを活用したオンラインによるコンサルタントと活動の提供を行う予定である。

補足法123号/2006年及び省令8364号/2014年によって制定された零細小企業定期公開討論会 (フォーラム) は、連邦政府と零細・小企業代表団体及び27州政府のローカルフォーラムを支援する会合であり、零細・小企業・事業・工芸開発担当などによる零細・小企業開発向け国家政策を支援する。

(出所 Agência Sebrae de Notícias)